

盛岡赤十字病院 熊本地震救護活動報告

盛岡赤十字病院
医療社会事業部



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社本社より救護班派遣指示

日本赤十字社第1ブロック（北海道+東北6県）から派遣、
現地で引き継ぐことで、継続した医療救護を提供する

第1期 4月18日（月）～20日（水）石巻

第2期 4月21日（木）～23日（土）盛岡 石巻

第3期 4月24日（日）～26日（火）八戸 秋田

第4期 4月28日（水）～29日（金）北海道 福島

- ◆現地での活動は4日間、前後に移動日
- ◆九州までの移動方法は飛行機、発着は福岡空港
- ◆福岡空港から熊本までの移動は石巻赤十字病院が派遣したマイクロバスを利用する。

盛岡

4月17日（日）

盛岡赤十字病院救護班（第1班）

派遣・メンバー決定 合計7名

医師 齋藤（循環器科 DMAT）

看護師 高柳、下屋敷、伊藤（嘉）

（DMAT 2名、こころのケア 1名）

薬剤師 丹代

調整員 佐々木（康）、石橋（DMAT 2名）

救護班出動

盛岡

第1班救護班出発式

◆4月19日（火）7：00～ 出発（空・陸路）



17：49 熊本県支部に到着

熊本

救護班第1班 活動1日目

◆4月20日（水）

熊本赤十字病院総合救命救急センター

8時～20時・20時～8時の2交代制 日勤を担当
常勤スタッフ・他県からの支援スタッフと協力して
約200名の診療を行う

医師（齋藤）

・救急搬送患者の診療

看護師（高柳）

・ウオークインのトリアージ

看護師（下屋敷・伊藤）

・コールセンター担当

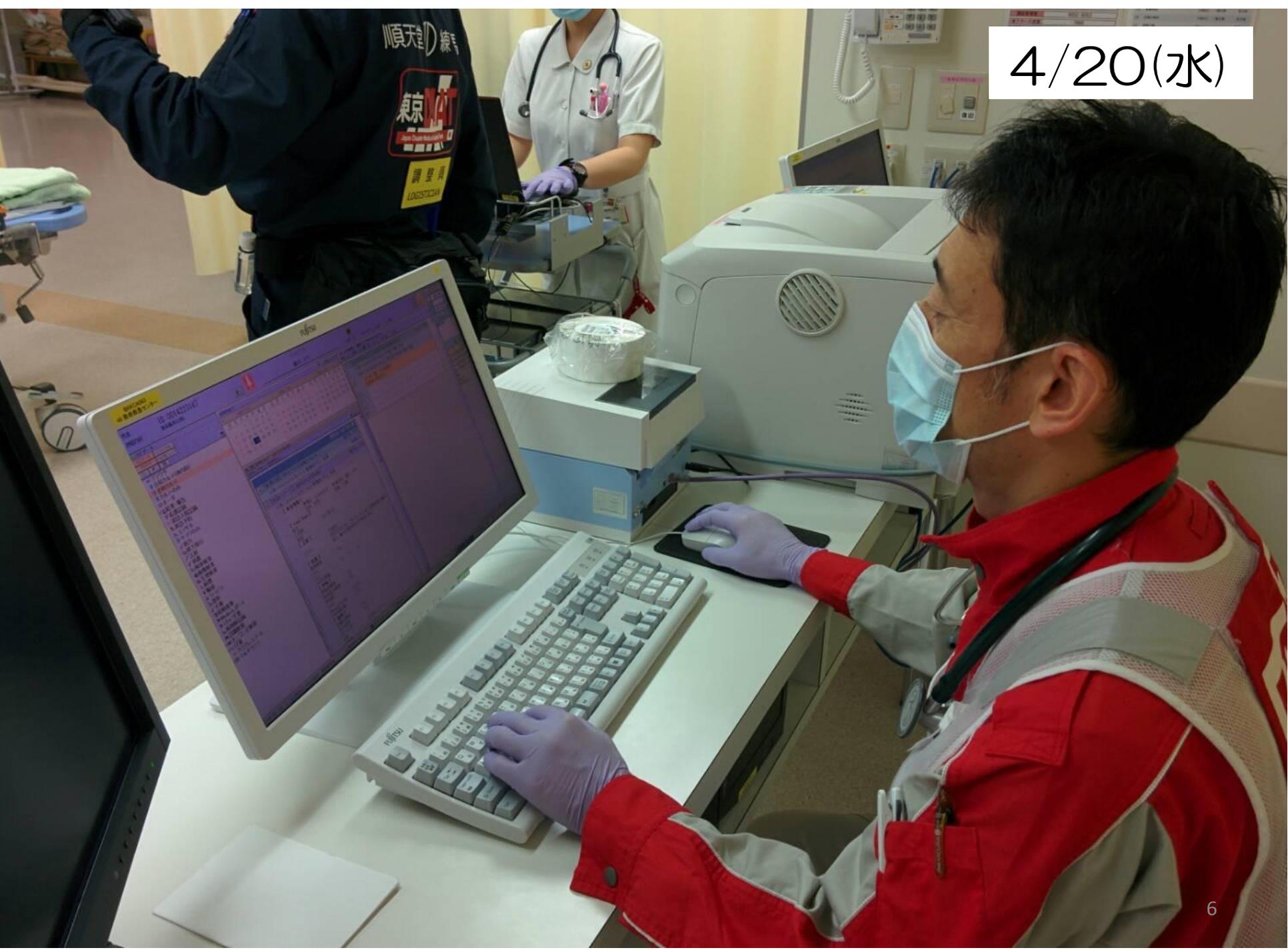
薬剤師（丹代）

・薬剤部門支援

調整員（佐々木・石橋）

・救急業務支援課

4/20(水)



4/20(水)



4/20(水)



熊本

救護班第1班 活動2日目

◆4月21日（木）

午前

①...石巻赤十字病院と西原村dERUで活動

午後から雨量が増え、隣接する保育所内へ移動して診療継続
岩手日報の取材あり

②...西原村各避難所を巡回

避難所2か所（河原小学校・西原中学校）の巡回を行い、
各避難所のアセスメントを実施。保健指導を行った。
エコノミークラス症候群疑いで1名を救急搬送。

午後

雨量増加・土砂崩れの危険があり、巡回診療をせず救護所運営
救護所・避難所で延31名を診療（外傷患者が多かった）

熊本

救護班第1班 活動2日目

午前の体制

(救護所班)

医師 佐藤医師 (石巻)
看護師 高橋、飛内 (石巻) 下屋敷 (盛岡)
薬剤師 丹代 (盛岡) 山崎 (石巻)
主事 青木 (石巻) 佐々木 (盛岡)

(巡回班)

- 1) 齋藤医師 (盛岡) 班 : 西原中学校
伊藤看護師 (盛岡)、石橋主事 (盛岡)
- 2) 深水医師 (石巻) 班 : 村民体育館、のぎく荘
新田看護師 (石巻)、高橋主事 (石巻)
- 3) 井上医師 (石巻) 班 : 河原小学校
高柳看護師 (盛岡)、佐々木主事 (石巻)

午後は2班で救護所運営

4/21 (木)



4/21 (木)



4/21 (木)



熊本

救護班第1班 活動3日目

◆4月22日（金）

①...石巻赤十字病院と西原村dERUで活動

救護所で53名を診療（外傷患者が多かった）

晴天のせいか、受診患者午前中のみで約40名

昼過ぎに日本赤十字社近衛社長が来訪

②...西原村各避難所を巡回

避難所3か所（山西小学校・河原小学校・西原中学校）

の巡回

各避難所のアセスメント・フォローアップを実施

日本赤十字社近衛社長をご案内

③...さいたま・芳賀赤十字救護班へ申し送り₁₄

熊本

救護班第1班 活動3日目

午前
の体制
(救護所班)

医師	佐藤・井上	医師 (石巻)
看護師	高橋 (石巻)	高柳・伊藤 (盛岡)
薬剤師	丹代 (盛岡)	山崎 (石巻)
主事	青木 (石巻)	石橋 (盛岡)

(巡回班)

- 1) 齋藤医師 (盛岡) 班：山西小学校
下屋敷看護師 (盛岡)、佐々木主事 (盛岡)：避難所で7名
診療。避難者のアセスメント。
- 2) 深水医師 (石巻) 班：機能改善センター
飛内看護師 (石巻)、高橋主事 (石巻)

熊本

救護班第1班 活動3日目

午後の体制

(救護所班)

医師	佐藤・深水医師 (石巻)
看護師	高橋、飛内 (石巻) 下屋敷 (盛岡)
薬剤師	丹代 (盛岡) 山崎 (石巻)
主事	佐々木高橋 (石巻) 佐々木 (盛岡)

(巡回班)

- 1) 齋藤医師 (盛岡) 班 : 西原中学校
伊藤看護師 (盛岡)、石橋主事 (盛岡) : DVT予防啓発事業
- 2) 井上医師 (石巻) 班 : 河原小学校
高柳看護師 (盛岡)、青木主事 (石巻)

4/22(金)



4/22(金)



4/22(金)



4/22(金)



4/22(金)



看護師

日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY
岩手県支部

日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY

4/22(金)



熊本

救護班第1班 活動4日目

◆4月23日（土）

石巻赤十字病院と撤収資機材の積み込み
石巻赤十字病院と福岡へ移動



日本赤十字社本社より救護班派遣指示

日本赤十字社第1ブロック（北海道+東北6県）から派遣、
現地で引き継ぐことで、継続した医療救護を提供する

第5期	4月29日（金）	～	5月2日（月）	山形	仙台
第6期	5月2日（月）	～	5日（木）	盛岡	石巻
第7期	5月5日（木）	～	8日（日）	福島	秋田
第8期	5月8日（日）	～	11日（水）	北海道2班	

- ◆現地での活動4日間、前後に移動日
- ◆九州までの移動は、飛行機利用
- ◆熊本県内は、レンタカーを借りて移動

盛岡

4月23日（土）

盛岡赤十字病院救護班（第2班）

派遣・メンバー決定 合計7名

医師 青木（外科 DMAT）

看護師 阿部（幸）、赤川、松原
（DMAT 1名、こころのケア 1名）

薬剤師 櫛屋敷

調整員 阿部（賢）、戸田（DMAT 1名）

盛岡

盛岡帰還

◆4月24日（日）17：00～

第1班救護班帰還式

17：00頃、第1班が空・陸路で当院に無事帰還。

班長の齋藤医師から院長に帰還報告の後、報告会に集まった職員に班長から活動報告を行った。



熊本赤十字病院医療支援出動

盛岡

杉村副院長 出発

◆4月25日（月）7：00～ 出発（空・陸路）

熊本赤十字病院救急センターの支援を行う



熊本赤十字病院医療支援出動

盛岡

斉藤美香看護師 出発

◆4月29日（金）7：00～ 出発（空・陸路）

熊本赤十字病院救急センターの支援を行う



救護班出動

盛岡

第2班救護班出発式

◆ 5月1日（日）7：00～ 出発（空・陸路）



5/1(日)



翌日からDVTの予防活動を行う事になり、山形県支部から引き継ぎを受ける。

5/1(日)



エコミークラス症候群を予防しましょう

避難所生活・車中泊をされている方は長時間同じ姿勢で足を動かさずにいることからエコミークラス症候群が発症しやすくなります。

動画を活用し発症を予防しましょう。

エコミークラス症候群予防

● エコミークラス症候群の予防について

エコミークラス症候群の予防について

エコミークラス症候群って？



呼吸困難・胸の痛み・心肺停止を引き起こす危険がある

5/1 (日)



熊本

救護班第2班 活動1日目

◆ 5月2日（月）

益城町総合体育館 益城町商工会

活動を引き継ぐ山形県支部と共に活動

- 体育館管理の保健師チームにDVTについて知ってもらおう
- 施設内を巡回
弾性ストッキングを配布・必要性を指導・運動療法もレクチャー
- 熱中症対策と併せて水分を勧める

5/2(月)

茶城町保健福祉センター



5/2(月)





競技場には野口健さんが
提供したテントが
その数160



5/2(月)



5/2(月)

血圧測定

健康相談



弾性ストッキング Sサイズ8名 Mサイズ10名 Lサイズ4名 計22
名に配布

他8名はタイツを持っていた。トータル30名（うち男性8名）にDVT予
防啓蒙。

熊本

救護班第2班 活動2日目

◆ 5月3日（火）

益城町総合体育館裏

野口健テントプロジェクト

テントで生活している方へのDVT啓蒙活動

- ・ テント居住区は総社市職員が管理
- ・ テントの数は160
- ・ 活動開始直後、民医連医師から声を掛けられ、同じミッションだったため、160テントを半分に分けて回った

5/3(火)





弾性ストッキング Sサイズ2枚
LLサイズ1枚



Mサイズ11枚 Lサイズ6枚
計20枚を配布



5/3(火)



熊本

救護班第2班 活動3日目

◆ 5月4日（水）

益城町総合体育館 駐車場

活動を引き継ぐ静岡県支部と共に益城町総合体育館へ

午前

引き継ぎも兼ね静岡県支部と共に体育館でのDVT啓蒙活動

午後

静岡県支部→引き続き体育館内で活動

当院救護班→体育館駐車場

- ①ストッキングを履いてどうだったか？ストッキングは足りているか？
- ②履いていない方にはサイズ調整しストッキング配布・水分摂取と運動の必要性を伝える
- ③体調不良無いか？熱中症対策はしているか？
- ④口腔衛生の悪化から上気道炎、肺炎を発症しているとの情報があったため、歯科受診などの情報提供

5/4(水)



5/4(水)



弾性ストッキング Sサイズ 2名 Mサイズ 14名 Lサイズ 7名
 LLサイズ 1名 計 24名 に配布

※ 他にお声がけした方多数

熊本

救護班第2班 活動4日目

◆ 5月5日（木）

益城中央小学校 午前中までの活動

益城中央小学校の救護所で活動するように指示あり
福島県支部と共に益城中央小学校へ

福島県支部→救護所運営

当院救護班→避難所となっている体育館の巡回

- ①弾性ストッキングが配布されているか
- ②弾性ストッキングが配布された方のその後
- ③運動をしているか
- ④水分は取れているか（熱中症指導を含め）
- ⑤こころのケア（傾聴）

益城保健福祉センター（ハピネス）、熊本県赤十字本部へ活動終了報告

熊本県赤十字本部から石巻赤十字病院と共にマイクロバスにて福岡へ移動

5/5(木)



盛岡

盛岡帰還

◆ 5月6日（金）12：40～

第2班救護班・医療支援帰還式

12：40頃、第2班が空・陸路で当院に無事帰還。

救護班第2班長の青木医師、医療支援を終えた杉村副院長・
齊藤看護師から院長に帰還報告。



盛岡赤十字病院救護班は、熊本県現地での活動を終え帰還しましたが、
今なお、日本赤十字社では被災された方々のこころのケア活動等を
継続して実施しております。

Do our best.

想いを活かす、チカラになる。



私たちは、忘れない。
Forever remembered.

災害救護のスペシャリストとして、
様々な活動で増った技術と経験。

東日本大震災で
日本中、世界中から寄せられた多くの想い。
そして、被災された方々から受け取った多くの言葉。

その全てを活かして、
復興へと歩む人々のチカラになりたい。

そのために私たちは、
ベストを尽くすことを約束します。

あの日から五年経った今だからこそ、
私たちはあえてここに宣言します。

日本赤十字社岩手県支部
盛岡赤十字病院 救護班

